

OCU

RCHR

大阪市立大学人権問題研究センター

第57回 サロンde人権

話題提供：戴エイカ
(ノースキャロライナ大学)

ティビズムについて
ゾラ・フェスティバルと
アフロ・アメリカン・アク

無料

6月25日 (水)

午後1:00～4:00

田中記念館

3階会議室

お問い合わせはセンターまで
06-6605-2035
info@rchr.osaka-cu.ac.jp

米国のフロリダ州にあるイトンビルで、毎年1月に「ゾラ!・フェスティバル」が開かれている。この小さなまちには、奴隷解放後にアフリカ系アメリカ人が築いた数多くのコミュニティの1つで、その中で最初に行政的に認められている。ゾラ・ニール・ハーストンが育ったまちでもある。彼女は、民俗学者、文化人類学者、作家として数々の業績を残し、政治的にも影響を及ぼした。フェスティバルは、彼女の生き方や業績を祝福し、芸術や人文科学を奨励するイベントである。この報告では、ゾラ・フェスティバルとアフリカ系アメリカ研究の展開を重ねてみることで、アフリカ系アメリカのアクティビズムの展開を照射してみたい。